



撮影 菅野和彦

白川英樹 先生
2000年ノーベル化学賞受賞
記念講演会

知るということ
セレンディピティーと
待ち構えた知性

日時

平成27年11月6日(金)
16:00~18:00

会場

イムズホール

(福岡市中央区天神1-7-11 天神イムズ9F)

参加
無料

講演内容

講師：白川英樹 氏

1936年東京都生まれ。筑波大学名誉教授。
2000年「導電性ポリマーの発見と開発」でノーベル化学賞受賞。
同年文化勲章受章並びに文化功労者顕彰。

ニュートンによる万有引力の発見やレントゲンによるX線の発見、フレミングによるペニシリンの発見など、偶然や失敗がきっかけで目的以上に素晴らしい発明や発見をする能力を“セレンディピティー”といいます。導電性高分子の発見も失敗実験から生まれたポリアセチレンの薄膜がきっかけでした。

だからといって偶然に期待をかけたり、失敗したりすればよいというものではありません。電磁誘導を発見したアメリカの物理学者Joseph Henryは“偉大な発見の種は、いつでも私たちのまわりを漂っています。しかし、それが根を下ろすのは、それを待ちかまえている心にだけである”とっていますし、フランスの化学者であり細菌学者であったLouis Pasteurは“チャンスは、待ちかまえた知性の持ち主だけに好意を示す”とっています。要するに単に記憶しただけの知識ではない、しっかり学んで身につけた知性が必要なのです。

この講演では小学生から大学院生まで21年間の勉学、その後34年間の研究から得た経験を踏まえて、“知るということ”はどういうことかについて、導電性高分子発見の経緯やノーベル化学賞受賞のエピソードを交えてお話しをします。

申込

E-mailまたはFAXに、申込書の内容を記載の上、平成27年10月30日(金)までにお申込みください。
お電話でも受け付けております。

申込先



公立大学法人
福岡女子大学
地域連携センター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
Tel 092-661-2728 (直通) Fax 092-692-3220
E-mail c-renkei@fwu.ac.jp URL http://www.fwu.ac.jp

主催：九州大学 福岡女子大学
共催：福岡大学 福岡工業大学 福岡歯科大学 九州産業大学 中村学園大学 西南学院大学
後援 福岡県教育委員会